

## 平成29年度保護者研修会

日時：平成29年8月19日(土) 10:00～

場所：福岡市中央区市民センター3階ホール

演題：「子どもと絵本」

講師：古相正美 先生

(中村学園大学教育学部教育学研究科 教授)



### はじめに

暑い日が続く中での開催でしたが、保護者190名、職員147名の参加での研修会をすることができました。篠原会長は、「絵本の大切さは痛感していて、自分の子どもにも絵本の読み聞かせを幼いころからしていましたが、小学校・中学校へと進むにつれて絵本から離れ、漫画や雑誌へと興味を示してしまいました」とちょっと苦い体験談を話されました。続いて本日の研修会の講師古相正美先生について、「先生は大学において保育内容（言葉）の研究をされていますが、家庭においては7人の子どものお父さんで、夫婦で協力しながらの子育て、出張の日などは夕飯の支度を朝早くから行っていらっしゃると聞きました」と紹介されました。参加された皆さんは驚きの声を上げるとともに、これからの講演への期待が一層高まりました。

以下、古相先生の講演内容を紹介します。

### 「今日」（伊藤比呂美訳）という詩について

この詩は、ニュージーランドの子育て支援施設に伝わる詩で、伊藤比呂美さんが翻訳されました。この詩には、子育て中の親の気持ちがよく表現されています。社会とのつながりが断たれるような気持ちになったり、日々の家事と子育てがスムーズにできないことに悩みながらも、愛しい我が子との温かいかわりに喜びを感じた親の気持ちが書かれています。子育て中の親たちへの応援歌ですね。



### 育児と保育の違い

保育園は、12時間お預かりしている施設ですが、これが1日だったらどうでしょう？保育園の子どもは帰りますが、家庭の子は家庭からどこかに帰ることはありません。保育園も家庭も同じ子どもを相手にするのですが、おのずと取り組み方も違ってきます。

### 胎内から胎外へ

どのようにして人間は言葉を獲得するのでしょうか？ここ20年の研究で赤ちゃんについて様々なことがわかってきました。その理由はエコー検査の進化によるものですが。約20週(妊娠6か月)より胎内で指しゃぶりをしたりなどの運動をしていることがわかります。また、生まれる前から目も見えるし、聞こえてもいます。

そして、体内から胎外へ。つまり、赤ちゃんの誕生です。このことは同僚の笠原先生から聞いた話なのですが、虐待を受け、児童相談所から施設に預けられてくる子が、「おはよう」という挨拶の言葉を話すと同じように、「殺すぞ」という言葉を発するケースがあるということです。愛情深い言葉をかけてもらえないまま育ってきたことが原因と考えられます。胎外に出て最初に接するお母さんの言葉かけ、その後の言葉かけの大切さを感じます。

赤ちゃんが生まれたとき、1日目から2日目ごろに子どもが泣かずに目を開けている瞬間に顔を近づけて目を合わせてみると、赤ちゃんはまねをします。生まれた瞬間から子どもは模倣します。しかし、赤ちゃんは基本的に寝ているか、泣いているので、この瞬間に立ち会うのはとても難しいですが。

さて、言葉の獲得の話に戻ります。バイリンガルの子どもを目指し、外国語の CD を聞かせ育てる親がいるという話を聞いたことがあります。これは無理です。言葉の獲得は、直接的なコミュニケーションによって生まれることが段々とわかってきました。

オムツを替えるとき、人は無言ではしません。必ず話しかけるでしょう。育児本能と言ってもいいでしょう。0 歳からの言葉かけはとても大事です。言葉の獲得という知的な発達には個人差があります。「コップの水」に例えると、徐々にたまって来た水があるときいっぱいになるとあふれてくるように、言葉は獲得されていきます。

## 絵本の効果と読み聞かせの意味

子どもに最初に与える本に『いないいないばあ』がよく取り上げられますが、絵が黒く、お勧めできません。『ちいさなうさこちゃん』は子どもがよく見ました。ディック・ブルーナーの本は、ブルーナーカラーと言われ、オレンジや黄色などの原色が使っていて、子どもたちはよく見られます。

生後 1 か月ごろ、起きている時間に読んであげるとよいでしょう。絵本を読むことは、同じものを見ながら話をすることで言葉の獲得につながります。

母親が産後鬱（うつ）に陥りやすい 1 か月ごろ、睡眠不足などが原因で虐待のきっかけになりやすい時期にブルーナーの絵本はお勧めです。しかし、絵本が小さすぎて、集団保育には向きません。この本は子どもを膝にのせてあげ、1 対 1 で読むような絵本です。絵本を読むことは子どもたちのためだけでなく、読んでいる大人の気持ちも優しくしてくれます。また、疲れて子どもに声をかけられない時にも、絵本は有効です。

絵本を読むときは、子どもに質問をしないほうがよいでしょう。絵本を読み聞かせしながら、質問のことを中心に考えてしまうようになるからです。

赤ちゃんを対象にした絵本は増えました。こぐま社の『かおかおどんなかお』。短くて単純な絵本ですが、0 歳児から 5 歳児までお勧めできる本です。

異年齢児保育の中では、小さい子に合わせて絵本を選ぶのがよいでしょう。絵本の顔を模倣したり、高学年は高学年なりの反応をします。

知育が大事だと言って英才教育をする人がいますが、幼児期から勉強はしないほうがよいでしょう。泥団子を作る、走り回る、こうした遊びが「学び」になるのです。創造しながら遊ぶことが大切です。

## 絵本のいろいろ

子どもにどんな絵本がいいのでしょうか？ 保育園の子どもは 0 歳児から絵本を見ていますが、幼稚園の 3 歳児は絵本の経験が少なく絵本が聞けない子が多いようです。絵本が聞けるかどうかは、絵本の経験値によります。

子どもに与える絵本に決まりはありません。保護者の好きなものを読んであげればよいのです。保育園では、保育士は嫌いな絵本も読んであげることも大切です。

読む（目から入って理解する）のと読み聞かせ（耳から入って理解する）は違います。耳から入る行為が大切なので「よんで」と言われた時には読んであげてください。絵本の読み聞かせは信頼関係が出来ている人（親や保育者）から読んでもらえることがとてもよく、読み方が上手い下手ではありません。これはアタッチメントに関係し、情緒の安定にもつながります。

大人は繰り返すのは嫌いですが、子どもは繰り返しのあるものが好きです。読み終わり、「おしまい」と言っても、「もう 1 回」と求めてきます。本の内容は覚えているのですが、読んでほしいのです。

2 歳から 3 歳は記憶する能力が高まるので言葉も発達します。しかし、これは短期記憶と言われ、すぐに忘れてしまうものです。年長や小学生低学年から長期記憶にきりかわります。怖い記憶や嫌な記憶は残りやすいのですが、楽しい記憶により情緒は安定します。未就時期に英才教育をするのではなく、情緒の安定を図るための関わりを行うほうが良いのです。

絵本の中にはわからないものは多くでてきますが、わからないものの中で生きていく子どもにとっては関係ありません。わからないから興味を示す。だから調べる。子どもはいっぺんに全部を見



ることができません。ゆっくりと見て認識をしていくので、絵本の読み聞かせはゆっくりと行うことが大事です。

子どもは食べる場面が大好きです。『14ひきシリーズ』。一斉に読み聞かせるには向かないと思いますが、表紙と表紙カバーが違っていること、知っていますか？中川李枝子さんの『いやいやえん』。名作ですが、年長になったら聞ける内容といえます。『ピーターラビット』。この本は、文字が少なく小さいので、一斉に読み聞かせるには向かない本と思います。

絵本を聞かない時期は、無理して読む必要はありません、特に男の子で聞いてくれないときは、虫や乗り物系が良いでしょう。そのうち熱中するものが見つかるかもしれません。

## 文字の世界へ

文字の世界へ。文字は、年中から年長になり「おしえて」と言ってきたタイミングで教えてあげるとよいでしょう。無理やり教えることで、文字を書くことが嫌になり、作文が嫌いになるなどその後に影響します。焦らずにゆっくりと教えていきましょう。子育てもゆっくりと無理なく毎日楽しく行っていくことが大事だと思います。



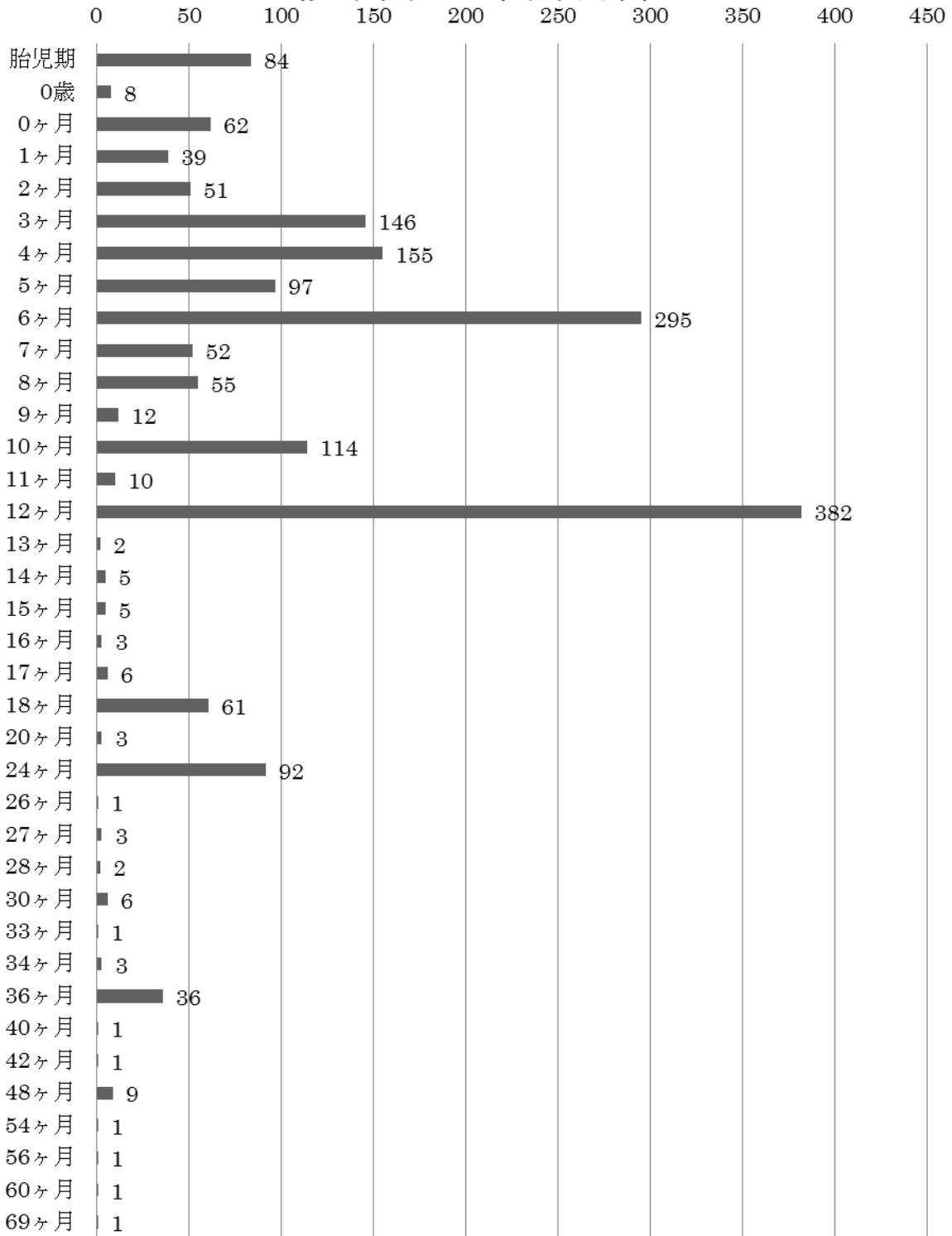
## 今日 (伊藤比呂美訳) ニュージーランドの子育て支援施設に伝わる詩 (作者不詳)

今日、わたしはお皿を洗わなかった  
ベッドはぐちゃぐちゃ  
浸けといたおむつは  
だんだんくさくなってきた  
きのうこぼした食べかすが  
床の上からわたしを見ている  
窓ガラスはよごれすぎてアートみたい  
雨が降るまでこのままだとおもう

人に見られたら  
なんていわれるか  
ひどいねえとか、だらしなくてとか  
今日一日、何をしていたの？とか  
わたしは、この子が眠るまで、おっぱいをやっていた  
わたしは、この子が泣きやむまで、ずっとだっこしていた  
わたしは、この子とかくれんぼした  
わたしは、この子のためにおもちゃを鳴らした、それはきゅうっと鳴った  
わたしは、ぶらんこをゆすり、歌をうたった  
わたしは、この子に、していいこととわるいことを、教えた

ほんとにいったい一日何をしていたのかな  
たいしたことはしなかったね、たぶん、それはほんと  
でもこう考えれば、いいんじゃない？  
今日一日、わたしは  
澄んだ目をした、髪ふわふわな、この子のために  
すごく大切なことをしていたんだって  
そしてもし、そっちのほうじゃほんとなら、  
わたしはちゃーんとやったわけだ

# 読み聞かせ開始月齢



(福岡市早良区保育園保護者調査)

※詩「今日」と「読み聞かせ開始月齢」は講演当日の資料です。